

2026年3月6日  
国立大学法人東京芸術大学**東京藝大×JR東日本 上野駅ギャラリー「CREATIVE HUB UENO "es"」  
宮嶋龍太郎個展「変遷する装置 ピンスクリーン」開催のお知らせ**

CREATIVE HUB UENO "es" では、宮嶋龍太郎個展「変遷する装置 ピンスクリーン」を、2026年3月17日（火）から4月19日（日）まで開催いたします。

宮嶋龍太郎による、1930年代に発明されたアニメーション装置・ピンスクリーンの現代における実践と美学を展示。フランスで発明された本装置を使った映像作品《REST》を上映。使用した実機の展示、広島産の針による装置新造なども紹介いたします。

この機会に、ぜひご高覧ください。

**<開催概要>**

- 展示会名：宮嶋龍太郎個展「変遷する装置 ピンスクリーン」
- 会期：2026年3月17日（火）～4月19日（日）
- 休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）
- 時間：11:00～19:00（最終入場18:45） □入場料：無料
- ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO "es" 東京都台東区上野7-1-1（上野駅浅草口付近）

**□推薦コメント**

アニメーション史に特異な軌跡を残した描画装置・ピンスクリーン。1930年以來ほぼ一家相伝だったこの装置が、近年新たに復活し、フランスで複数台制作されている。宮嶋龍太郎は、それを日本でいち早くアニメーション作品に応用し、また装置の改良の研究にも賛助している。

《REST》は、白から黒へのグラデーションを表現できるピンスクリーンの物理的な特性と対話しながら、コマ単位で操作する中で、自己の無意識下のヴィジョンを表出させている。

東京芸術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授 山村浩二

【このプレスリリースのお問合せ】東京芸術大学芸術未来研究場アート×ビジネス領域

□作品ジャンル

---

映像、ピンスクリーン装置

□主な展示作品

---

《REST》2025年 ピンスクリーンアニメーション

あらすじ:針の林に湧き出でる輪郭に浴する時、現世は遠くなり、ただ息をするのみ。

■出展者プロフィール

---



宮嶋龍太郎（みやじま りょうたろう）

経歴

2015年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒。2017年同学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。

2025年同研究科博士号(映像)取得。墨絵によるアニメーション作品《RADIO WAVE》《AEON》

《CASTLE》等でこれまでに150以上の映画祭にノミネートされ、20の賞を受賞。

主な展示歴

2025年 ロサンゼルス・アニメーション・フェスティバル 国際実験短編銀賞,アメリカ,ロサンゼルス（作品：REST）

2020年 文化庁メディア芸術祭 審査委員会推薦作品, 東京（作品：CASTLE）

2020年 広島国際アニメーションフェスティバル, ベスト・オブ・ザ・ワールド 入選,広島（作品：CASTLE）

2019年 新千歳空港国際アニメーション映画祭 観光庁長官賞,北海道（作品：CASTLE）

2017年 ザグレブ国際アニメーション映画祭 入選,クロアチア,ザグレブ（作品：AEON）

2016年 プチョン国際アニメーション映画祭 DHL Diversity賞, 韓国,プチョン（作品：RADIO WAVE）

---

【このプレスリリースのお問合せ】東京藝術大学芸術未来研究場アート×ビジネス領域

■過去作品



©MIYAJIMA ANIMATION

《CASTLE》2019, 水墨アニメーション

(映像)

あらすじ:戦国時代、多くの命が失われた。城の設計者は、武士が人間性を取り戻す場所として茶室の可能性を見出す。



©2017 MIYAJIMA Ryotato / Tokyo University of the Arts

《AEON》2017, 水墨アニメーション

(映像)



©2016 MIYAJIMA Ryotato / Tokyo University of the Arts

《RADIO WAVE》2016, 水墨アニメーション

(映像)

あらすじ:冷戦時代活発になされた暗号放送。少年は雪山でラジオのチューニングを合わせている時に、偶然暗号放送を聞いてしまう。

【このプレスリリースのお問合せ】東京藝術大学芸術未来研究場アート×ビジネス領域